学校番号	１０１３

令和２年度　芸術科〔美術〕

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校美術２」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・普段生活の中で感じていることを少しでも意識して留めておくことが大切だと思います。
・視覚、触覚など感じ取ったことから思考する「絵画・彫刻」、社会から目的や機能から考える「デザイン」、「映像メディア表現」感じたことを共有する「鑑賞」の分野について学習します。
・生徒同士が作品を相互に鑑賞（批評）することで、様々な違った視点や考え方を確認することが出来ます。

2　学習の到達目標

美術Ⅱでは制作時間が長い場合、制作過程を理解したうえで、計画を立てる。完成のイメージから遡って制作してゆく過程を理解させる。
個性豊かな表現の可能性や、知識、技法をさらに発展させ自己のイメージに少しでも近づけられるよう学びながら制作してゆく。
また作品の制作過程のなかで周りから受ける刺激や意見を意識的に感じられるようにする。
現代社会の中での様々な美術文化（表現）に対する理解と関心を引き出してゆく。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	①現代社会、日々の生活の延長として美術という表現方法を捉える。 ②技法や材料、用具の特性や効果を主体的に活かし表現方法を工夫しながら主題を追及し表現しようとしている。	①独創性、想像力を働かせ、感じ思考することの必要性。 ②作業と思考を合わせる事で、「表現」をさせる。 ③表現形式の特性を生かして造形性だけでなく目的、機能も含んだ表現構想を練っている。	①個性豊かな創造性のある表現をするために必要な、技術、知識を身につけ、教材に応じて表現方法を拡げる工夫をしている。 ②　作品完成における達成感を得る。	①映像表現や美術作品、またはそれらの作家性や時代背景、文化を感じることで理解する。 ②違った意見や感想を知る事で理解の幅を持たせる。
評価方法	制作の様子、取り組み方。 鑑賞における、意見や感想。 意見発言内容	アイデアスケッチ（エスキース） 制作過程の作品 制作時の発言内容 ワークシート	作品制作過程での技術、技能 完成、展示された作品	ワークシート 感想、意見、発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	表現と選択Ⅱ	【鑑賞】【デザイン】【絵画、彫刻】 ・オリエンテーション 教科書を基に、表現について Ⅱ	◎	○	○		a:美術の様々な表現を知る b:美術の歴史と文化について自分との関連性を考える。 c:発想力の簡単な作品制作	学習活動の様子
	素材Ⅰ	【絵画】【写真】 人物画 写真を用いて等身大の自画像	○	○	◎	○	a:人物について　(ポーズなど) b:拡大構図の理解と実践 cｄ: 対象をじっくり観察し、表現、描写する。	制作の様子 制作課程 リアリティのある完成作品
2学期	素材Ⅱ	【デザイン】【彫刻】 ・仮面と粘土	◎	○	○	○	ad:海外の仮面や日本の能や祭りの仮面、映画など様々な仮面を紹介する。仮面に込められた様々な意味や歴史を理解する。 bc:感情を仮面に宿す主題に合った制作。粘土造形着色、必要に応じた素材の可能性を探る。	制作の様子 制作課程 完成作品
	素材Ⅲ	【絵画】【鑑賞】 ・屏風絵	◎	◎	○	○	a:屏風の構図や遠近法を理解 b:独自の発想で構図や描写を構成していく。 C:表現、描写の技術の向上 d:代表的な屏風作品の時代の権力や宗教、歴史を理解させる。	制作の様子 制作課程 完成作品
3学期	素材Ⅳ	【デザイン】 ・お皿のデザイン制作	◎	○	○		ac:東洋西洋の伝統的な模様（シンボル）を取り入れたお皿のデザインを考える。 b:スクラッチの技法を作品の中に取り入れる。	制作の様子 制作課程 完成作品
	映像メディア	【鑑賞】 ・様々な映像メディア表現の可能性	○	◎		○	a:テーマを設定し、コマ割で表現の一部を表してみる bd:国内外の映像メディア表現、作品を観ることで、意見を出し理解する。	関心の高さ 学習活動の様子

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想・思考・表現・構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。